

SDGs ができる！ 世界が見える！ SDGs 入門のための決定版！

SDGsのきほん

未来のための17の目標



全18巻 揃定価：揃本体 39,600 円（税別）
定価：本体各 2,200 円（税別）

展示会選書実績 No.1!

トーハン児童図書・優良図書展示会
集計期間：2021年4月～6月末
日販図書館営業部春季ブックフェア・図書館選書センター調べ
集計期間：2021年4月～6月末



17の目標ひとつひとつを、1冊ずつにまとめていますので、
学習のテーマに合わせて、各巻の組み合わせが可能です！



※必要事項をご記入のうえ、書店様へお申込みください。

申込書	SDGsのきほん 未来のための17の目標 全18巻 ISBN978-4-591-91887-6 揃定価：揃本体39,600円(税別) 定価：本体各2,200円(税別)	ご注文数	取扱い書店名
	ご芳名、または学校・図書館名	セット	様
	ご住所 〒 -	お電話番号 -	

ポプラ社 〒102-8519 東京都千代田麹町4-2-6住友不動産ファーストビル 受注専用フリーダイヤル FAX 0120-53-6188
 受注センター TEL:04-2951-2104/FAX:04-2951-2105
 こどもの学びグループ TEL:03-5877-8113/FAX:03-5877-8131
 ホームページ www.poplar.co.jp

ポプラ社

なぜ今SDGs?

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsは「持続可能な開発目標」という意味で2015年9月に国連の加盟国が一致して決めたものです。17個のSDGsのゴール(目標)と「ターゲット」という「具体的な目標」が169個あります。

SDGsができるまで
 国連は2015年にSDGsをつくる前、それまでに達成する目標として「ミレニアム開発目標(MDGs)」を掲げていました。
 2015年以降の目標
 2000年9月、ニューヨークで開発途上国と先進国が合意したMDGs(ミレニアム開発目標)とは、そこで採択された開発途上国を主として定められた「開発の目標」(ミレニアム開発目標)として、2015年9月の国連サミットで採択された。2015年9月の国連サミットで採択された。2015年9月の国連サミットで採択された。2015年9月の国連サミットで採択された。

そのためには、日々の学習の中でSDGsについて学んだり考えたりする機会をふやす必要があります。

これからの児童生徒には、「SDGsの目標達成のために自分が何をすべきか」を主体的に考え、人類の一員としてSDGsの目標達成に向うことが求められています。

なぜ展示会で1番選ばれているのか?

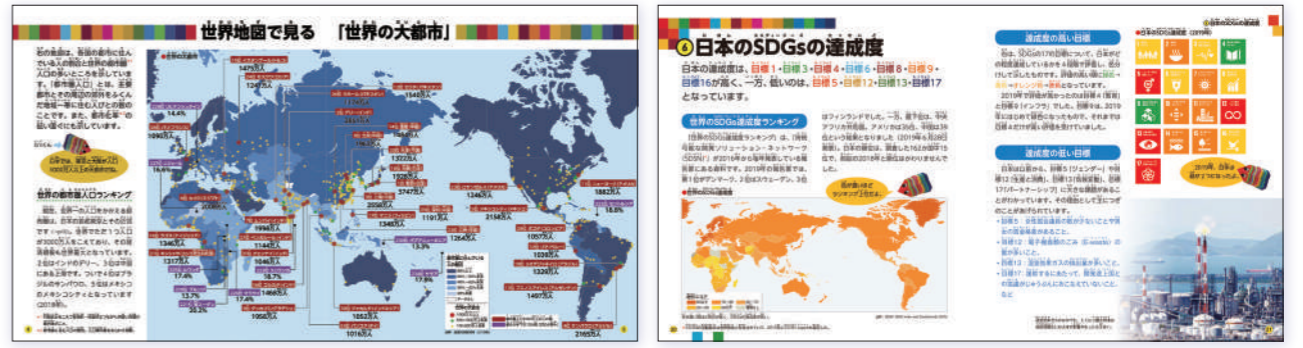
シリーズ「SDGsのきほん」は、1巻目の『入門』と2巻～18巻の各巻で1巻1ゴール(目標)ずつの構成になっており、17のゴールすべてについてくわしく学ぶことができるセットです。

選ばれている3ポイント

01 17の目標ひとつひとつを、1冊かけて手厚く解説!



02 世界の状況が一目でわかる世界地図や各種データ、関連用語解説といった資料を多数掲載! 小学生から大人まで役立てていただけます。



03 17の目標をより具体的に示した169個のターゲットのポイントを、易しい言葉で表現した「子ども訳」つき。子どもだけでなく大人にもわかりやすい!

目標1のターゲットの子ども訳
 SDGsの169個のターゲットは、もとより厳密に定められていますが、それを平易な日本語にしたのが下の「子ども訳」です。このシリーズでは、ポイントを押さえて「子ども訳」をつくりました。

1.1 2030年までに、貧困層下の貧困層をなくす。
 1.2 2030年までに、貧困層下の貧困層の数を半分に減らす。
 1.3 貧困層下の貧困層をなくす。2030年までに、貧困層をなくす。
 1.4 2030年までに、貧困層下の貧困層をなくす。貧困層をなくす。
 1.5 2030年までに、貧困層下の貧困層をなくす。貧困層をなくす。
 1.6 貧困層下の貧困層をなくす。貧困層をなくす。
 1.7 貧困層下の貧困層をなくす。貧困層をなくす。

外務省による各目標のターゲットの日本語訳は、難しい言葉が多くわかりにくい。そこでポイントをばって「子ども訳」をつくりました。
例：外務省訳ターゲット1.b「貧困撲滅のための行動への投資拡大を支援するため、国、地域及び国際レベルで、貧困層やジェンダーに配慮した開発戦略に基づいた適正な政策的枠組みを構築する。」
 ⇒子ども訳「貧困をなくすために必要な投資をおこなえる社会をつくる。」

世界でもっとも深刻な問題は?
 世界でもっとも深刻な問題はなにかと問われたら、なんと答えますか。近年は「地球温暖化」をあげる人が多いようです。

地球の気温上昇がとまらない!
 世界が「持続不可能」になる理由はたくさんありますが、なかでも最もとくに問題になっているのが「地球温暖化」です。
 日本では梅雨に強い雨や猛烈な台風などが地球温暖化によってもたらされています。

もっとくわしく
 100年あたり約0.7℃上昇
 地球は、大昔から暖かくなったり寒くなったりをくりかえしてきました。気温が寒かった百億年前には地球全体の平均気温が、いまより10℃以上も高く、逆に、地球が氷河のあたりまで冷たくなったこともありました。

世界でもっとも深刻な問題は?
 プラスチックごみ
 身のまわりには、ペットボトルやシャンプーの容器、食品を保存しておくための容器など、プラスチック製がたくさんあります。プラスチックは石油などから人工的につくられる物質で、しぜん分解されることはありません。海に流れこんだプラスチックごみは、5mm以下の小さなプラスチック(マイクロプラスチック)になります。それを海の魚が食べると、まがえって食べ、その魚を人間が食べると、健康被害が起こります。

化石燃料がなくなる!
 これまで人間は石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料を燃やし、それらを燃やしてエネルギーをつくってきました。でも、化石燃料は、このまま使っていくと、近い将来なくなってしまうと予測されています(石炭は100年程度、石油、天然ガスは50年ほどでなくなるという資料もある)。今後、新たな油田・鉱山の発見や技術革新によって、この数字はかわっていく可能性があります。いつかなくなってしまうことはまちがちなありません。
 ・天然の資源としての石油や石炭、天然ガスは、有限な資源です。燃やした後は、燃やした分の炭素がCO2として大気中に放出され、地球温暖化の原因の一つになります。

エネルギー資源の持続可能な開発目標(2018年時点)
 132年
 132年

もっとくわしく
 100年あたり約0.7℃上昇
 地球は、大昔から暖かくなったり寒くなったりをくりかえしてきました。気温が寒かった百億年前には地球全体の平均気温が、いまより10℃以上も高く、逆に、地球が氷河のあたりまで冷たくなったこともありました。

もっとくわしく
 100年あたり約0.7℃上昇
 地球は、大昔から暖かくなったり寒くなったりをくりかえしてきました。気温が寒かった百億年前には地球全体の平均気温が、いまより10℃以上も高く、逆に、地球が氷河のあたりまで冷たくなったこともありました。

各巻の内容詳細は特設サイトへ →

